



守口警察署地域課
地域第1係

巡查長
稲村優果さん

まちの 安全を 守る！

犯罪を未然に防ぐことはとても
難しい。“何もないこと”が一番。
そんな思いを胸に守口で防犯に携
わる2人に話を聞きました。

守口市防犯委員会
支部長連絡協議会

会長
山下利光さん



地域のためにできることを

昭和59年4月1日から防犯委員に所属しています。地域の安全は警察に任せきりにするのはなく、地域で守るべきものだと考えています。当時は、まず自分が地域のためにできることは何かを考えてきました。

役に立てたと実感

市や地域の行事などの警備は、季節を問わず依頼があるため、暑さや寒さなど、大変なことも多いです。しかし、犯罪発生率が減少したときはもちろんですが、地域の人からの「ありがとう」といった感謝の言葉は、防犯委員をやっていてよかったと思う瞬間であり、役に立てたと実感するときです。それが防犯委員の活動の原動力となっています。

安全安心のために

心がけること

最近の傾向として、子どもを対象とした連れ去りや悪質ないたずらが多いことから、特に子どもへの注意を怠らないようにしています。地域との連携を図りながら、犯罪被害の防止

警察官になっただけのきっかけ

学生時代に私自身が犯罪(痴漢)の被害者となり、不安な日々を過ごす時がありました。自分が警察官となって犯罪の根絶や、被害にあった人の心のケア、そしてみんなが安心して暮らせるまちづくりに貢献したいと思い、警察官の道に進もうと決めました。

昼夜問わず

多岐にわたる業務

交番を拠点に24時間体制で勤務しています。交番に届けられる遺失・拾得物の受理、地理教示、交通整理や悪質ドライバーの取り締まり、犯罪多発地域の犯罪抑止活動(外でのパトロール)や犯人検挙活動、地域住民と連携した子どもの見守り活動、その他にも110番通報の事件・事故の処理など幅広い警察事象への対応をしています。

みんなを笑顔に

市民から「こういってるところを回ってほしい」などの要望があったところを重点的に、またパトロールしながら危険性が高

強く優しくあるために

感謝される喜び

深夜パトロールした際に、パトロールカードを投函しています。そのカードを見た人から、翌日お礼の言葉が届きました。そこに書かれている感謝の言葉を目にして、警察官になった喜びを感じました。特殊詐欺の犯人に騙され、指定された口座に現金を振り込もうとATMを操作しているおばあさんに声をかけて、被害直前で未然防止できたことも。地道な活動で善良な市民の役に立てたことを実感したとき、やりがいを感じます。



防犯の意識を高める存在として

行政・警察・地域の人

との協働

警察で行っている防犯に関わるキャンペーンなどの依頼は積極的に進んで受けるようにし、地域の人たちから「ここが危ないからもっとこうしてほしい」などの声があった場合は危機管理室と連携し、地域住民の窓口としての役割に努めています。

あなたも防犯の一員に

実際に動いている防犯委員の人は、同じ顔ぶれで、高齢化も進んでいるので、市民の皆さんに防犯委員会をもっと知っていただき、若い人にぜひとも加入していただきたいです。
自分たちの地域は、自分たちで守るという自助・共助の理念に則って、今後も活動していきます。

伝えたいこと

平日の午後1時20分からFM HANAKOで放送されている「リアルタイム警察もりぐち」で犯罪予防に役立つ情報を広報しています。その他にも積極的に啓発活動などを行っています。警察だけでは限界がありますが、家族や地域の人同士で「最近こんな犯罪や危険がある」などと声を掛け合い、地域一帯となって被害防止にご協力をお願いします。

